

ちがいのちがい

所用時間

60分

対象

小学校高学年以上

ねらい

- 他者の意見を聞き、そのよさがわかる。
- 自分の考えを他者に伝えることができる。
- 生活の中で、見過ごしている様々な性別による人権問題に対して、問題意識をもつことができる。

準備

ワークシート「ちがいのちがい」
ストップウォッチ（計時用1） 筆記用具（各自）

進め方

導入

10分

- 1 アイスブレイク（バースデー・サークル）を行い、グループを作ります。
 - ファシリテーターも参加するとよいでしょう。
 - 輪になっていることを利用して一つのグループが4～6人ぐらいになるようにします。（4人グループが望ましいです。）
 - 男女比を同じにしたグループを作りたい場合は、あいこジャンケン（2回あいこになった人から男女別に並んでいく）がよいでしょう。

展開

40分

- 2 ワークシート「ちがいのちがい」を配り、各個人で「あっていいちがい」「あってはならないちがい」「どちらともいえない」に分けます。（5分）
発問：「ワークシートを見てください。そこに8つのことがらがあります。それぞれ、『あっていいちがい』『あってはならないちがい』どちらにあてはまりますか？下の表に記入してみましよう。分からない場合は『どちらとも言えない』のところに書き入れて下さい。」
- 3 グループで話し合います。意見交換をしてグループとしての考えをまとめます。（10分）
発問：「それぞれ考えたことをグループ内で発表し、話し合っグループとしての考えをまとめてみましよう。後でグループの考えを発表してもらいます。発表者を決めておいてください。」
 - 事前に発表用の用紙（A3ぐらい）を各グループに配布し、グループごと記入すると、まとめやすく発表に利用できます。

展開

4 グループごとに表します。(15分)

発問：「それではこちらのグループから発表して下さい。」

- 発表用の用紙を掲示し、みんなで見ながら発表するとそれぞれのグループの考えが比べやすくなります。

5 全体で話し合います。(10分)

- ①意見が分かれる項目を中心に全体で意見交換をしましょう。

発問：「○○について、皆さんの意見が分かれていますので、それぞれの考えを聞かせてください」

- ②「あっていいちがい」「あってはならないちがい」それぞれ共通する特徴を全員で話し合しましょう。

発問：「あっていいちがいはどのような共通点があるでしょうか。」

振り返り
10分

6 話し合いから、今考えていること、問題として残ったことを書きます。

発問：「今日話し合ったことから、今考えていること、問題として残ったこと、参考になった意見を書いてみましょう。」

- 振り返ったことを発表し合ってもよいでしょう。

留意点

- ワークシート「ちがいのちがい」の項目は学習者の年齢、実態に合わせて内容を考えるとよいでしょう。
- 項目の数は、学習時間、学習者の実態に合わせて調節する必要があります。
- この学習の後で集会の目的に合わせて、ジェンダーや男女共同参画社会についての資料を用意し、学習することもできます。
- 「子どもの権利」「同和問題」「高齢者の人権」など人権課題に応じて項目を変えて取り組むこともできます。
- 答えを求める参加者もいますが、問題意識をもつことや他者の考えを受け止めてみるのがねらいなので、いろいろな考えを出してもらいながら、話し合いを行きましょう。

引用・参考文献：新しい開発教育の進め方（改訂版）古今書院

ちがいのちがい

ワークシート

氏名



Q. 「あっていいちがい」「あってはならないちがい」はどれでしょう。

① 店には、女性のお客さんに限った「サービスティー」があるが、男性客用にはほとんどない。

② Aさんの家では父親が必ず先にお風呂にはいるが、Bさんの家では決まっていない。

③ 3月3日桃の節句は休日ではないが、5月5日端午の節句は「こどもの日」として休日である。

④ マラソン大会で男子は5km走り、女子は3km走る。

⑤ 小学校の参観日に母親は多く来るが、父親は少ない。

⑥ 夫のことを主人という言い方があるが、妻のことは主人とはいう言い方はない。

⑦ 地区の役員さんは女性が少なく、男性が多い。

⑧ ポスターに女性の水着姿が多いが、男性の水着姿はほとんどない。

番号を書きましょう

| | |
|-------------|--|
| あっていいちがい | |
| あってはならないちがい | |
| どちらとも言えない | |

ふいかえってみましょう。この活動でどんなことを考えましたか？